

令和2年2月6日

広島県議会
議長 中本 隆志 殿

陳情者
幸福実現党広島県本部
代表 福田三男

ひろしまトリエンナーレへの公金支出の見直しを求める陳情書

要望の趣旨

2020年9月より行われる企画展「ひろしまトリエンナーレ」の開催にあたって、市民、県民、国民の皆様が納めた大切な公金が予算計上されています。2018年度からの3年で予算規模は2億6400万円。すでに広島県は2018年度に1500万円、2019年度には3600万円を支出しており、尾道市、三原市の分担金も投入される予定です。また、文化庁からも1800万円が予算計上されています。

しかし、この企画展は、「あいちトリエンナーレ」でも問題となったように、日本国民の統合の象徴と憲法に規定されている天皇陛下を貶める内容の作品や、公序良俗に反するような内容の作品も「表現の自由」として展示される恐れがあります。県民・国民の感情や尊厳を傷つける内容、子供達にとっても見せられないような内容の作品展示に対して、県民の皆様からお預かりした大切な公金を支出するべきではありません。むしろ、西日本豪雨の被災地の復興や防災インフラの整備など今後の災害対策、被災地の経済支援のために尽力し、公金を投入すべきです。

よって、以下の対応を広島県議会に対して要望致します。

要望事項

- 一、県民より納付された大切な税金を日本国民統合の象徴である天皇陛下を貶める内容や、公序良俗に反する内容を含む作品展示のために使わないこと。
- 一、ひろしまトリエンナーレに公金を支出するのではなく、2018年の西日本豪雨における災害の復興と防災インフラの整備、被災地の経済支援のためにさらなる対策を行うこと。

以上